<データ呼出>

測定結果情報を呼び出し、修正または保存、再送信、再印刷します。

メニュー画面

①ホーム画面の［メニュー］ボタンを押してください。

②メニュー画面の［データ呼出］ボタンを押してください。

データ呼出-選択画面

③呼出手段を選択します。
［日付］または［患者 ID］［全データ］ボタンを押してください。

データ呼出-日付入力画面

④呼出開始・終了年月日を入力後、［決定］ボタンを押してください。

呼出開始・終了年月日
共に初期値は現日付が表示されます。
呼出開始年月日の末尾にアンダーバーが表示され、バー上の文字が入力または削除されます。アンダーバーを左に移動させるには［消却］ボタンを押してください。アンダーバーを右に移動させるには、テンキー［ボタン］を押してください。
入力情報をキャンセルする場合には、データ呼出画面に戻り画面を切替えてください。

■入力エラー
- 無効月日を入力した場合
- 一桁の月日を入力する際、十桁目に “0” を入力しない場合
- 呼出終了年月日が呼出開始年月日より早い場合

データ呼出・日付結果画面

呼出条件に合った測定結果を 1 件ずつ表示します。

測定結果情報
測定日付時刻が新しい順に番号付けされます。
日付時刻・シーケンス No.・患者 ID・測定結果

日付時刻・スライドボタン（上下）
上：該当件数の 1 つ前の測定結果を表示
下：該当件数の 1 つ後の測定結果を表示
測定結果がない場合には、表示されません。

呼出該当件数表示

処理方法選択

［修正］ボタンは日付呼出のみ表示されます。

［保存］ボタンを押し USB メモリーに保存した後は電源を入れ直してください。

■［送信］ボタンが非表示
外部通信の設定が【未使用】の場合【取扱説明書 P.23】

［送信］［印刷］ボタンを押すとアイコン上に［ONE］［ALL］ボタンが表示され対象を選択できます。

データ呼出-日付結果-患者ID修正画面

選択した測定結果の患者 ID を修正します。
ハンディバーコードリーダーの設定が【使用】の場合には、ハンディバーコードリーダーでの入力を行います。

データ呼出-患者ID入力画面

⑤患者 ID を入力後、［決定］ボタンを押してください。

ハンディバーコードリーダーの設定が【使用】の場合には、ハンディバーコードリーダーでの入力を行います。

故障かなと思ったら

① 本体準備

	画面表示と印刷	原　因	対処の仕方
電源	⇒表示なし	●コンセント・電源プラグが抜けている。	●コンセント・電源プラグをしっかり挿入してください。
環境温度	右上温度情報 温度：高 **.*℃	●本体内温度が 35℃を上回る。	●室温を調整して本体内温度が測定可能範囲（15～35℃）になるまで待つ。（測定可能範囲に達したら自動で “温度 OK” と表示が切替り測定可能になります）
	温度：低 **.*℃	●本体内温度が 15℃を下回る。	
扉	扉が開いています。 扉を閉めて下さい。	●本体動作中に扉が開いている。	●扉を速やかに閉めてください。
	扉解放のまま 30 秒経ちました。動作を停止します。 電源を入れ直してください。	●本体動作中に扉が開いて、30 秒経過している。	●電源を入れ直してください。
マスターカーブカード	使用期限切れ マスターカーブカード ①面を挿入して下さい。	●マスターカーブカードの使用期限が切れている。	●新しい試薬のマスターカーブカードを登録してください。
	有効期限 マスターカーブカード ①面を挿入して下さい。	●マスターカーブカードの②面を上にして挿入している。	●マスターカーブカード①面を上にして挿入してください。
	タイムアウトエラー マスターカーブカード ①面を挿入して下さい。	●マスターカーブカードの①面を読取り後、10 秒経過している。	●マスターカーブカード①面を挿入後、素早く②面を挿入してください。
	マスターカーブカードを挿入して下さい。 ⇒読取りなし。	●マスターカーブカードのバーコードに傷・汚れ・穴があり情報が読み取れない。	●新しい試薬のマスターカーブカードを登録してください。

②（測定開始）ボタン押し直後

	画面表示と印刷	原　因	対処の仕方
プリンター	プリンターペーパーがセットされていません。プリンターペーパーをセットしてください。	●プリンターペーパーがセットされていない。	●プリンターペーパーをセットしてください。
	プリンターカバーが開いています。プリンターカバーを閉じてください。	●プリンターカバーが開いている。	●プリンターカバーを閉めてください。

③ 測定中

	画面表示と印刷	原　因	対処の仕方
扉	扉が開いています。	●本体動作中に扉が開いている。	●扉を速やかに閉めてください。
	扉開放のまま 30 秒経ちました。動作を停止します。 電源を入れ直してください。 Timeout:Door Open 印刷例	●本体動作中に扉が開いて、30 秒経過している。	●電源スイッチを入れ直してください。 採血からやり直していただく場合があります。
カートリッジ	カートリッジセット無し カートリッジをセットし再度測定開始を押してください。	●カートリッジがセットされていない。	●カートリッジをレール 1 にセットしてください。
	カートリッジ確認中 カートリッジが室温に戻るまでしばらくお待ちください。	●カートリッジが室温に戻っていない。	●そのままお待ちください。 （カートリッジは必ず室温に戻してからご使用ください。）
	カートリッジ温湿異常 温度検出異常 電源を入れ直してください Timeout:Cartridge Temp.	●カートリッジ液温異常状態が 20 分経過している。	●電源スイッチを入れ直してください。 採血からやり直していただく場合があります。
バーコード	試薬カートリッジ使用期限切れ 使用期間内の試薬キットを使用してください。 Cartridge Exp. Error	●セットしたカートリッジの使用期限が切れている。	●新しい試薬キットを使用し、採血からやり直してください。
	マスターカーブカード未登録 カートリッジに合ったマスターカーブカードを登録してください。 Calibration Unenrolled	●カートリッジに合ったマスターカーブカードが登録されていない。	●試薬キットに同梱されたマスターカーブカードを登録してください。
	カートリッジバーコードに傷／汚れの可能性があります。新しいカートリッジを使用してください。 Barcode Read Error	●カートリッジのバーコードに傷・汚れ・穴があり情報が読み取れない。	●カートリッジをセットし直して［測定開始］ボタンを押してください。 ●読み取れない場合は、新しいカートリッジを使用し、採血からやり直してください。
引込み	キャピラリまたはチップ引っかかりキャピラリの挿入不足またはチップ 2 重挿入の可能性があります。キャピラリ／チップの挿入奥さを確認、再度測定開始を押してください。 Capillary/Tip Caught	●カートリッジに専用キャピラリ・専用ディスポチップが正しくセットされていないため本体内部で引っかかった。	●カートリッジに専用キャピラリ・専用ディスポチップを正しくセットし、［測定開始］ボタンを押してください。
	カートリッジ引き込み失敗 カートリッジ破損の可能性があります。新しいカートリッジを使用してください。 Change Cartridge	●カートリッジ引込みツメが破損、またはカートリッジを逆挿入している。	●新しいカートリッジを使用し、採血からやり直してください。
付属品	チップセット無し チップがセットされていませんチップをカートリッジにセットし再度測定開始を押してください。 Tip Set Error	●カートリッジに専用ディスポチップがセットされていない。	●カートリッジに専用ディスポチップをセットし、［測定開始］ボタンを押してください。
	キャピラリセット無し キャピラリがセットされていませんキャピラリをカートリッジにセットし再度測定開始を押してください。 Capillary set Error	●カートリッジに専用キャピラリがセットされていない。	●カートリッジに専用キャピラリをセットし、［測定開始］ボタンを押してください。
センサー	測定中止 ********** ［エラーコード表示］ 電源を入れ直してください。 **********	●センサー不具合 表示：モーターまたはセンサーエラー 印刷：Motor Sensor Error	●電源スイッチを入れ直してください。 ●新しいカートリッジを使用し、採血からやり直してください。
		●モーター動作不具合 表示：モーター制御エラー 印刷：Motor Move Error	復帰しない場合は、裏表紙の「お客様コール受付窓口」へお問い合わせください。

③ 測定中

	画面表示と印刷	原　因	対処の仕方
センサー	測定中止 ********** ［エラーコード表示］ 電源を入れ直してください。 **********	●専用キャピラリを取り外せない。 表示：キャピラリ取り外しエラー 印刷：Capillary Removal Error	●電源スイッチを入れ直してください。 ●新しいカートリッジを使用し、採血からやり直してください。 復帰しない場合は、裏表紙の「お客様コール受付窓口」へお問い合わせください。
		●専用ディスポチップを取り外せない。 表示：チップ取り外しエラー 印刷：Tip Removal Error	

④ 測定結果情報に関わるエラー

	画面表示と印刷	原　因	対処の仕方
ヘモグロビン 測光ウェル	セルブランク値が高い カートリッジ汚れ、または再利用 新しいカートリッジを使用してください。 Cell Blank High	●カートリッジの測光ウェルに傷や汚れがある。	●新しいカートリッジを使用し、採血からやり直してください。
	セルブランク値が低い カートリッジに異常があります。 新しいカートリッジを使用してください。 Cell Blank Low	●カートリッジの測光ウェルに傷や汚れがある。	
ヘモグロビン	希釈済検体吸光度が高い 検体量が多いまたは希釈液がアルミシール面に付着していた 新しいカートリッジを使用してください。 Hb Abs High	●検体量が多い （5 μ L 以上）	●適切に検体採取してください。 P.14
	希釈済検体吸光度が低い 検体量が少なすぎる、またはヘモグロビン濃度が低い 新しいカートリッジを使用してください。 Hb Abs Low	●検体量が少ない ●検体が凝固している	●検体量を確認し、1 分以内にカートリッジに挿入してください。
		●ヘモグロビン値が低い （約 8 g/dL 未満）	●他の測定方法を用いてください。
R1	R1 吸光度が高い 試薬劣化の可能性があります 新しいカートリッジを使用してください。 R1 Blank High	●試薬が劣化している ●正しく保管されていない試薬を使用した。	●新しいカートリッジを使用し、採血からやり直してください。
	R1 吸光度が低い 試薬劣化の可能性または試薬がアルミシール面に付着していた 新しいカートリッジを使用してください。 R1 Blank Low	●試薬が劣化している ●正しく保管されていない試薬を使用した。	
		●試薬がシール面に付着していた。 ●試薬中に気泡が含まれていた。	
反応	反応初期時吸光度が高い カートリッジに異常があります。 新しいカートリッジを使用してください。 T1 Abs High	●試薬中に気泡が含まれていた。 ●試薬が劣化している。 ●その他。	●新しいカートリッジを使用し、採血からやり直してください。 同じエラーが発生する場合には、他の測定方法を用いてください。
	反応初期時吸光度が低い カートリッジに異常があります。 新しいカートリッジを使用してください。 T1 Abs Low		
	反応タイムコース異常 測光時に異常が発生しました。 新しいカートリッジを使用してください。 Time Course Out	●試薬中に気泡が含まれていた。 ●測定中に本体を動かした。	
測定範囲外	（結果表示） 12.6%以上 HbA1c(NGSP)12.6%以上	●当システムの測定可能濃度、12.5%を上回る。	●他の測定方法を用いてください。
	4.2%以下 HbA1c(NGSP)4.2%以下	●当システムの測定可能濃度、4.3%を下回る。	

⑤ 測定終了

	画面表示と印刷	原　因	対処の仕方
測定中止	測定中止 測定中止ボタンが押されました。 電源を入れ直してください。 Analysis Stop	●測定中に［測定中止］ボタンを押した。	●電源スイッチを入れ直してください。 ●測定中だったカートリッジを取り出し、廃棄してください。

お問い合せいただきたい項目

	画面表示と印刷	原　因	対処の仕方
本体不具合	動作停止 ********** ［エラーコード表示］ 電源を入れ直してください。 **********	●初期不具合 表示：モーターまたはセンサーエラー 印刷：Standby Error	電源スイッチを入れ直してください。 復帰しない場合には、下記の「お問い合わせ窓口のフリーダイヤル」へお問い合わせください。
		●温度不具合 表示：温度検出異常 印刷：Temp. Sensor Error	
		●検出器不具合 表示：光量検出異常 印刷：LED Light Sensor Error	

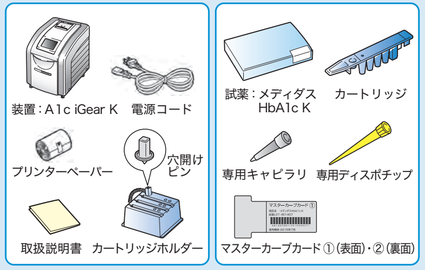
【販売元】
協和メディックス株式会社
第 1 版　2014.08

お問い合わせ窓口 **0120-800698**〈月～金 9：00～17：40〉
〒104-6004　東京都中央区晴海 1-8-10 晴海トリトンスクエア X 棟

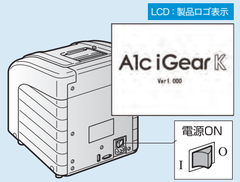
協和メディックス株式会社

STEP 1 測定準備

測定に必要なもの



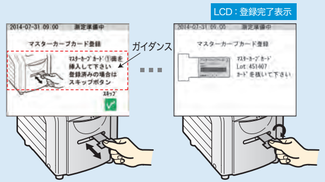
① 本体電源【ON】



電源コードを差し込み、電源スイッチを［ON］にします。

＜注意＞
・測定準備の時間は使用環境温度によって変わります。測定30分前に電源を入れておくことをお奨めします。扉が開いていると測定準備できません。扉を閉めてください。
・プリンターペーパーは必要に応じて補充して下さい。【取扱説明書 P.9】

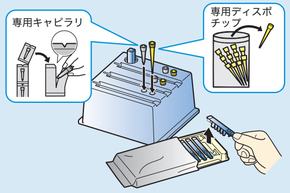
② マスターカーブカード登録



1. 試薬キットに同梱されているマスターカーブカード①（表面）を上にしてカード挿入口に差し込みます。
2. ガイダンスに従い速やかにマスターカーブカード②（裏面）を上にしてカード挿入口に差し込みます。
3. 登録が完了したらマスターカーブカードを抜き取ります。

＜注意＞
・マスターカーブカードが登録されていない場合はエラーになります。試薬キット開封時に登録して下さい。

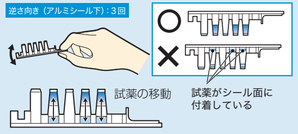
③ 試薬室温戻し



1. 冷蔵保存した試薬キットは 30 分以上室温（15 - 30℃）に放置します。
2. 専用キャピラリ及び専用ディスポチップを袋から必要分取り出し、カートリッジホルダーに右から順に載せます。
3. アルミ袋の端をハサミを用いて開封し、カートリッジの保持部を持って必要数取り出します。

＜注意＞
・取り扱い上の注意を必ずご参照下さい。【取扱説明書 P.12】

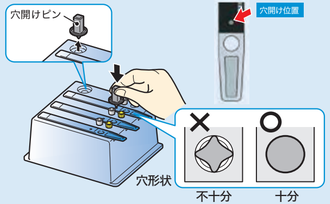
④ カートリッジの転倒混和



1. カートリッジを振り、試薬を移動させ混ぜ合わせます。
2. 試薬がシール面に付着していないことを確認し、カートリッジホルダーに載せます。

＜注意＞
取り扱いにより、正しい結果が得られなくなることがあります。【取扱説明書 : P.12-13】

⑤ カートリッジの穴開け



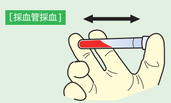
1. カートリッジホルダーに付属する穴開けピンを利用して、カートリッジの「◎」に穴を開けます。
2. 穴開けピンはカートリッジに突き当たるまで差し込んだ後、穴が円になるまで穴開けピンを回転させます。

＜注意＞
穴開けが不十分な場合には、キャピラリが落下するなどエラーの原因になります。

STEP 2 検体採取

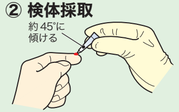
① 採血準備

①指採血は適切な穿刺器具を使用ください。



1. 血液を混ぜ合わせるため泡立たないように転倒混和してください。

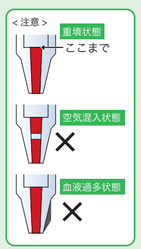
② 検体採取



専用キャピラリをななめ（約 45°）に傾けて持ち、毛細管部を検体に接触させて採取します。

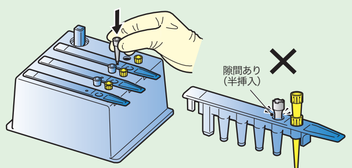
①. スライドガラス等に血液を適量垂らしてください。
②. 専用キャピラリをななめに傾けて持ち、毛細管部を血液に接触させて採取してください。

⚠ 採血管のフタに付着した血液を採取しないでください。正しい結果が得られなくなることがあります。



＜注意＞
・空気混入状態時は使用せずに廃棄する。
・血液過多状態時は使用せずに廃棄する。
・血液を拭き取らないで下さい。

③ 専用キャピラリ・ディスポチップ挿入

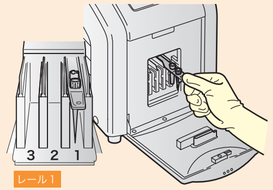


1. 専用キャピラリ挿入部に開けた穴に、検体採取後 1 分以内の専用キャピラリをカートリッジに突き当たるまで差し込みます。
2. 専用ディスポチップをカートリッジの専用ディスポチップ挿入部に挿入します。

＜注意＞
専用キャピラリが半挿入の場合には専用キャピラリが落下する等のエラーの原因になります。

STEP 3 測 定

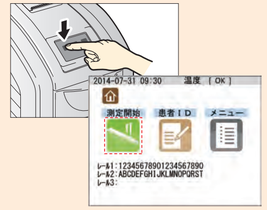
① カートリッジのセット



1. 本体の扉を開けてレールの右から順（1・2・3）にカートリッジをセットします。（3検体分まで同時にセット可能）
2. 本体の扉を閉めます。

＜注意＞
・専用キャピラリ及び専用ディスポチップがセットされていることを確認してください。セットされていないと測定できません。
・本体のレール No. とカートリッジホルダの No. を一致させてください。
・複数検体を同時に測定する場合には、右から順（レール 1・2・3）にカートリッジをセットしてください。
・レール 1・3 にカートリッジをセットした場合には、レール 1 で測定終了してレール 3 は測定されません。
・専用キャピラリを挿入したカートリッジは、1 時間以内に測定を行なってください。
・なんらかの事由により測定不可となったカートリッジが発生し、カートリッジを取り出した場合には、待機カートリッジを右レールから詰め直して測定を開始してください。

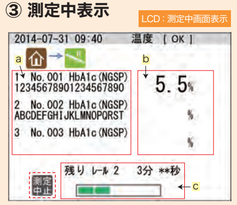
② 測定開始



1. ホーム画面に［測定開始］ボタンが表示されていることを確認します。
2. ［測定開始］ボタンを押します。

＜注意＞
［測定開始］ボタンが非表示（黒色）の場合は、測定準備が終了していない場合、扉が開いている場合で測定出来ない状態です。
【取扱説明書 P.16-17】

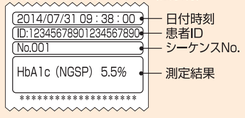
③ 測定中表示



■測定中画面構成■
a）レール・シーケンス No.・患者 ID 情報
b）測定結果情報
c）測定中状況
（測定中レール番号及び残り時間）

＜注意＞
測定中止する場合は、［測定中止］及び［はい］ボタンを押します。【取扱説明書 P.17】
または、電源スイッチを OFF にします。

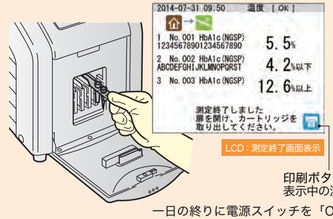
■測定結果印刷
印刷例…1 枚印刷、NGSP（表示有）



■印刷構成■
日付時刻・患者 ID・シーケンス No.・測定結果（測定終了した検体から測定結果が表示され、順次プリンターから印刷されます。）

＜注意＞
印刷条件を変更する場合は、設定変更して下さい。【取扱説明書 P.22】

④ 測定・結果表示画面-測定終了



●測定終了
・未測定あり
測定結果を表示後、次レールの測定を開始します。
・未測定なし
測定中情報と［測定中止］ボタンが消え、測定終了ガイダンスと［印刷］ボタンが表示され、終了音が鳴ります。

■測定エラー
・エラー種類に応じて表示と対処方法が異なります。【取扱説明書 P.26-29】

＜注意＞
・廃棄上の注意を参照下さい。【取扱説明書 P.3】

表示中の測定結果を再印刷（各 1 枚）します。

一日の終りに電源スイッチを「OFF」にします。

＜患者IDセットアップ＞

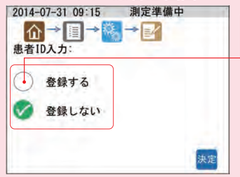
セットアップ画面

①ホーム画面の［メニュー］ボタンを押してください。

②メニュー画面の［セットアップ］ボタンを押してください。

③患者 ID を選択します。該当するアイコンボタンを押してください。

セットアップ-患者ID画面



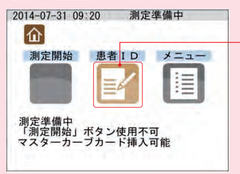
⑦患者 ID 設定を変更する場合には、［チェック］アイコンを移動させてください。設定の保存は、［決定］ボタンを押してください。

オプション設定の外部通信【使用】の場合
患者 ID はおのずと［登録する］になるため、セットアップ画面の［患者 ID］ボタンは表示されなくなります。

＜患者ID登録＞

1.手入力

ホーム画面



①ホーム画面の［患者 ID］ボタンを押してください。

■［患者 ID］アイコンが非表示（黒色）
セットアップ - 患者 ID の設定を【登録する】にしてください。
【取扱説明書 P.22-23】

患者ID入力画面

②レール No. を確認してください。

③患者 ID 入力（最大 20 文字）
• 入力（アンダーバー上）
［テンキー（英数字）］［ハイフン］ボタンで 20 文字まで入力できます。
20 文字入力するとアンダーバーが消えて入力できなくなります。
• 消去（アンダーバー左）
1 文字消去は［消去］ボタンを素早く 1 回押し。
連続消去は［消去］ボタンを長押し。

④入力情報の登録は［決定］ボタンを押してください。
続いてレール 2、3 と画面が切替ります。レール 3 の登録が終わると［ホーム］画面に切替ります。
患者 ID 入力をしない場合には［ホーム］ボタンを押してください。

ホーム画面

⑤登録情報を確認してください。
登録情報に誤りがある場合には、［患者 ID］ボタンを押して再登録してください。